

すくらむ

柏市青少年相談員

<http://www.kashiwa-soudanin.org/>

No. 83
(第19期7号)

【編集発行】
柏市青少年相談員
連絡協議会・広報部

【事務局】
柏市教育委員会
生涯学習課
04(7191)7393

柏市 相談員 検索

第34回 青少年夏のつどい オーバーナイトハイク



土手って、サイコー!
「絶対成功するぞ!」
(相談員の手)

青少年夏のつどい「第34回オーバーナイトハイク」。私ども19期相談員が贈る最後の回

を無事に開催することができました。

スタート直前で荒天のため中止になつた昨

年の分まで、相談員一同、議論を重ねて心を

込めて準備して参りました。そして迎えたこ

の夏は、災害レベルといわれた猛暑! 熱中症

対策に駆け回りましたが、覚悟していた本番

では寒いほどの気温! なかなか予想通りに

かないのが醍醐味です。歩きやすい気温が助

けてくれたのか、子どもたちは一人のリタイ

アもなく全員がゴールを迎える事ができまし

た。主催者側として大変嬉しい」とでした。

思い起こせば、昨年は歩行中の雨は無か

つたものの雨の中での可否判断、昨年は中止。

一步進めば一步下がる、私どもには波乱がつ

いて回りましたが、それぞれの事態を検証す

る機会が与えられていましたのだと思います。

笑顔で歩き抜く子どもたちの一步、支えて

くださる関係者の皆様の温かい一步、そして

心を託しあえる仲間との一步、それが積み重

なつて今回の成功となつたことは、私たちの財

産です。その一步を自信にかえて、この先もそ

れぞれの場面で努力して参る所存です。

皆さまには今後とも温かく見守つて頂けますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(夏のつどい部 部長 岩渕弘美)

学区活動

松葉中学区
【理科実験教室】

7月29日(日) 前日の台風による大雨から一夜明け、晴れ間が見えるなか、田中近隣センターにおいてでんき理科クラブの講師をお招きし、松葉第一小学校、松葉第二小学校、柏の葉小学校の高学年の子どもたち総勢30名と一緒に夏のイベント『理科実験教室』を開催しました。

今年は、充電式ミニカーを作りながら、電気の力について学びました。様々な仕組みのあるおもちゃも多数展示して頂き、動き、動かしたり、光らせたり、大人も楽しめる教

室でした。
(羽野)

酒井根中学区
【夏のわくわく木工教室】

8月26日(日) 酒井根近隣センターにて、小学生を対象に近所のラキア工房をお招きして木工教室を開催しました。子どもたち62名(低学年は保護者同伴)で参加しました。講師の説明を聞いてトントン、ぐるぐる、金槌やプラスドライバーなどで組み立てました。我が子の意外な力に喜ぶ保護者が印象的でした。

集中して製作に取り組み素敵な作品が出来上がりました。
(島本)

柏五中学区
【折り紙ヒコーキ教室】

7月1日(日) 柏第四小学校にて、青少年協と共に日本航空の講師をお招きして折り紙ヒコーキ教室を開催しました。学生約80人が参加しました。

はじめに航空会社のお仕事について学び、その後、パイロットの方にご指導いただき、自分で作成した作品を飛ばして翼の角度を調整して完成です。

みんなで遠くまで飛ばすコンテストで成果を確かめました。
(星)

手賀・風早・大津ヶ丘・高柳中学区
【わんぱくキャンプ】

7月21日(土)、22日(日) 手賀の丘公園キャンプ場にて小学生を対象に、自分で建てたテントに泊まるキャンプを行いました。4班に分かれて旗作り、夕食力

レー作り、ドッジボール、流しそうめん、キャンプファイヤーと夏ならではのイベントが盛りだくさん。猛暑を楽しく過ごしました。
(黒岩)

編集後記

今号では19期として最後のオーバーナイトハイクを特集しました。昨年の荒天中止から、「今年こそは」という熱い気概を感じました。本紙が相談員活動のご理解の一助となるよう今後も発信していきます。
(小林裕)

せい しゅう ねん
柏市 青少年相談員
うう だん いん

やつてみせんか?
私たち青少年相談員は、青少年健全育成を目的としたボランティアです。千葉県知事と柏市長から委嘱を受けた180人が中学校区ごとに分かれ、地域の子どもたちの成長をサポートしています。私たちと一緒に楽しい活動を企画・運営していきます。

第20期 柏市青少年相談員募集要項

令和3年4月1日から令和3年3月31日まで

青少年相談員になつてみませんか

青少年相談員は、青少年健全育成を目的としたボランティアです。千葉県知事と柏市長から委嘱を受けた180人が中学校区ごとに分かれ、地域の子どもたちの成長をサポートしています。私たちと一緒に楽しい活動を企画・運営していきます。

令和3年4月1日から令和3年3月31日まで

第34回 青少年夏のつどい オーバーナイトハイクの風景

今年の夏は例年にはないほどの酷暑でしたが、当日は歩きやすい天候に恵まれ、無事に開催することができました。およそ 30 km の行程を、総勢 820 名が一体となって挑みました！ 日常では味わえない試練に自ら立ち向かい、最後まで仲間とともに頑張った子どもたちは、自信をもってまた新たな挑戦をしていくことでしょう。（三浦）



時00分
一 駐車場有
律100円
さ
ノロープ、読み
迷路など様々
ができます。
(板津)

救護車は各グループに併走し、歩行中のトラブルの応急処置のため、テーピングや湿布、AED、保温タオルなども各救護車に積んでいます。本部から連絡を受けて看護師が待機している本部へ搬送し手当てをしてもらいます。そして、心も身体も元気を取り戻した子たちを隊列に戻します。今年は涼しかった為、例年よりも搬送した子どもが少なく 14 名でした。暑さ対策ばかりでなく、寒さ対策も必要だと考えさせられました。

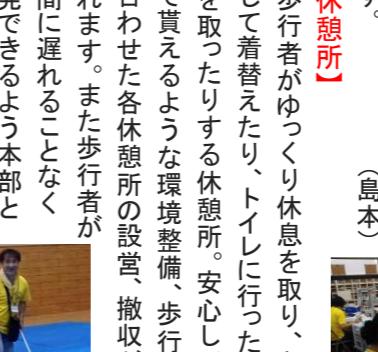


理をしました。（池上）
【バイク隊】
バイク隊は機動力を活かして、ルート上で歩行者の誘導や声掛けを行います。各グループに分かれて、隊列のスマーズな進行を見守るため先頭から最後尾までローテーションを行います。今年は、バイク利用者減などから省力化を試しました。また本番前の備えとして、当 日午前中にコースを点検し、雑草の草刈りもしています。（黒岩）



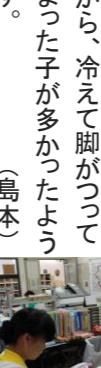
さから
冷えで脳がこな
しまった子が多くたよう
です。 (島本)

歩行者がゆっくり休息を取り、必要に
応じて着替えたり、トイレに行ったり、軽
食を取つたりする休憩所。安心して休憩所
して貰えるような環境整備、歩行ペース
に合わせた各休憩所の設営、撤収が求め
られます。また歩行者が
時間に遅れることなく
出発できるよう本部と
連携して休憩時間の管



で救護車を手配し、待機していた看護師が子どもたちと話をしても、心にも寄り添いながら処置をしました。今年は寒さから、冷えて脚がつってしまった子が多くなったようです。

（島本）



オーバーナイト俳句

8月19日（ハイク）にちなんで、俳句を募集しました。

- ・申し込み しなきや良かった 今後悔 (中3女子)
 - ・準備よ ゴール目指して いざすすめ(中3女子)
 - ・昼寝して いざ出陣 すすむのみ (中1女子)
 - ・三姉妹 全員参加 いってこい (保護者)
 - ・受験生 一夜忘れて 青春を (保護者)
 - ・真夜中の ふるさと柏 語り合い (中2男子)
 - ・夜の土手 蛙に負けない 笑い声 (相談員)
 - ・ゴール前 元気ないけど 皆笑顔 (中1男子)
 - ・夜が明ける 僕の心も 晴れていく (相談員)



参加者の声

- ・黙々と歩いた。完歩できてよかった。 (中1男)
 - ・とても楽しかったです。来年もまた参加したい。 (中1女)
 - ・去年の分まで歩いて良かった。3時頃から足の痛みが辛かったけど、今ではとてもよい思い出になった。後輩たちには来年以降もずっと楽しんでほしい。 (中3女 2回目)
 - ・足が痛くなったり眠くなったり辛いこともあったけど、周りの優しさに心が救われました。初めて夜の道を歩けてすごく楽しかった。ゴールして、自分でも歩けるんだという思いがこみ上げてきて嬉しくなった。 (中3女 初)
 - ・疲れたけど、友だちとたくさん会話ができて楽しかった。 (中3女 初)
 - ・キツイけどみんなで楽しくゴールできてよい思い出になった。 (中1男)
 - ・土手は星がきれいだった。カシオペア座が輝いていた。 (中2男)
 - ・先生や大人と一緒に歩くことで一体感が増していく。先生と休憩所でペットボトル投げをして目が覚めた。 (中1男)
 - ・ミニオンが居た。写真はどこに載るの？(中2男)一HPみてね！

14

ハイクの安全を万全に